

口蓋歯肉に診られた真皮内型色素性母斑の1症例

川島 次郎 喜久田利弘 大谷 泰志
瀬戸 美夏 青柳 直子 高岡 昌男
松田 道隆 成平 恭一

福岡大学医学部医学科歯科口腔外科学講座

要旨：色素性母斑は、メラニン色素形成能を有する神経堤を起源とした母斑細胞の過誤腫的増殖物とされている。口腔内に発症する色素性母斑は比較的稀とされている。41歳の男性が開業歯科医院から当科に紹介された。右上顎切歯の口蓋側歯肉に褐色の小さな茶色の点状斑を有する腫瘤を認めた。生検後の病理診断は口腔粘膜の真皮内型色素性母斑であった。

キーワード：色素性母斑, 真皮内型, 歯肉粘膜